



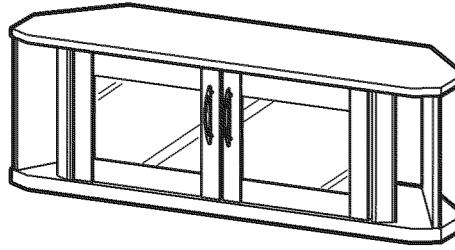
Model Name.

ティント
TVラック

Model No.

TIA-1000AV-DB

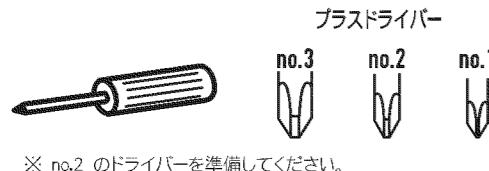
完成図



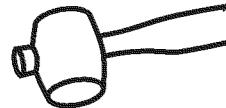
組み立てる時の注意点

- a) 本体を組み立てる時、ハンマーは直接たたかないで
当て木又は厚手の古雑誌などをあててたたいてください。
- b) 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- c) この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- d) 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」においても
必ずお読みになって、捨てずに保管してください。
- e) 接着剤塗布を指定してある箇所には、確実に必ず接着剤を塗布
してください。尚、固まるまでの2時間程度は、家具を動かさないで
ください。

組み立ての必需品

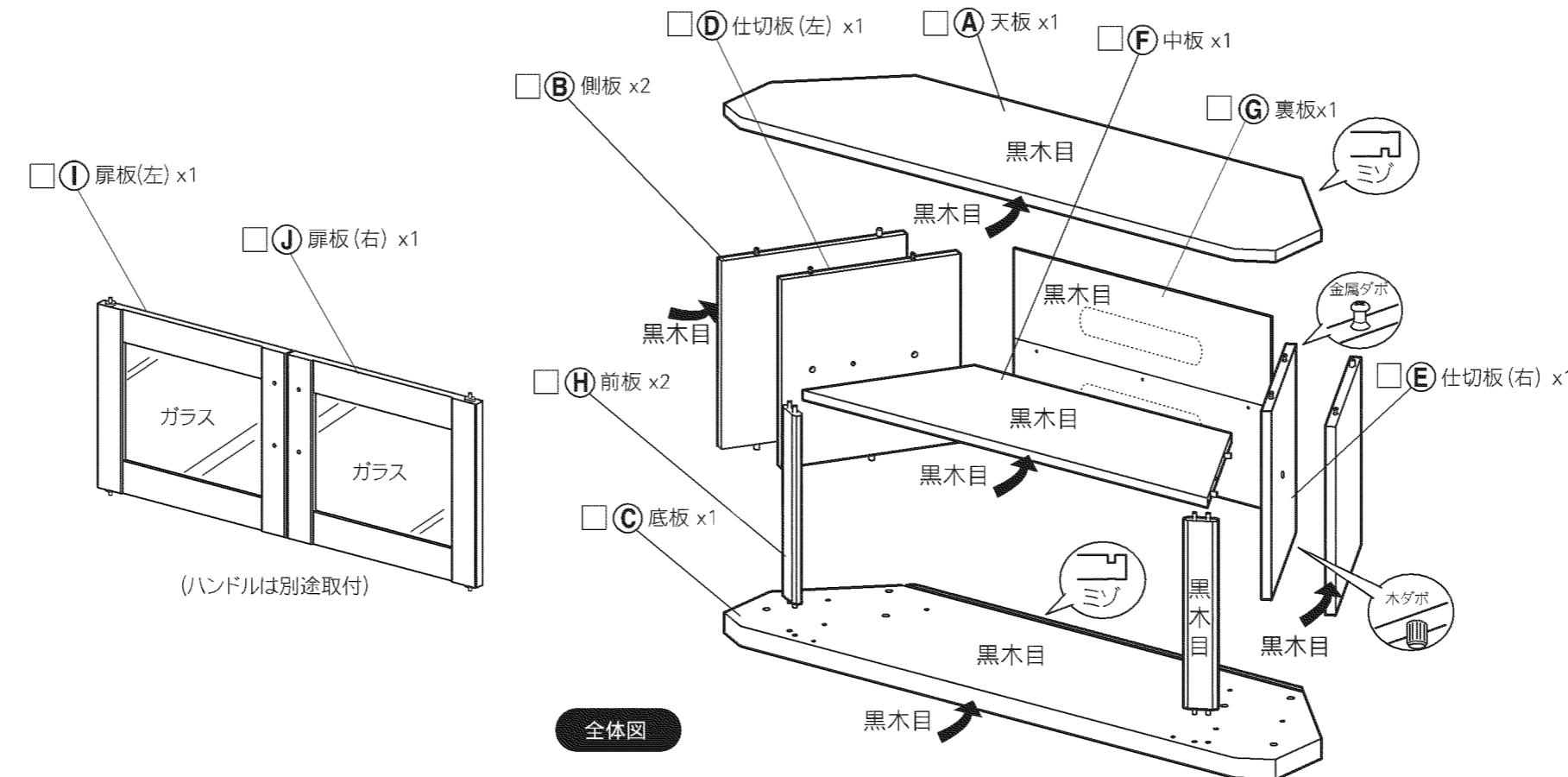


※ no.2 のドライバーを準備してください。



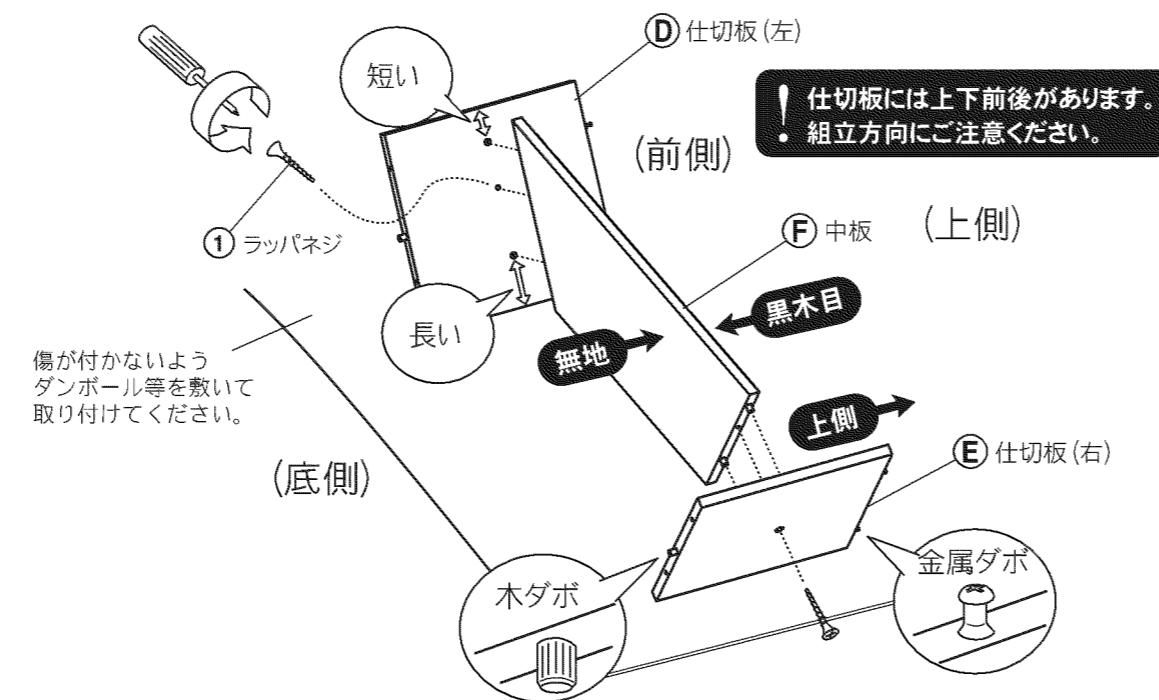
ハンマー

●まずは部品をチェック ✓ しましょう。



全体図

1 仕切板(左)(右)、中板の組み立て



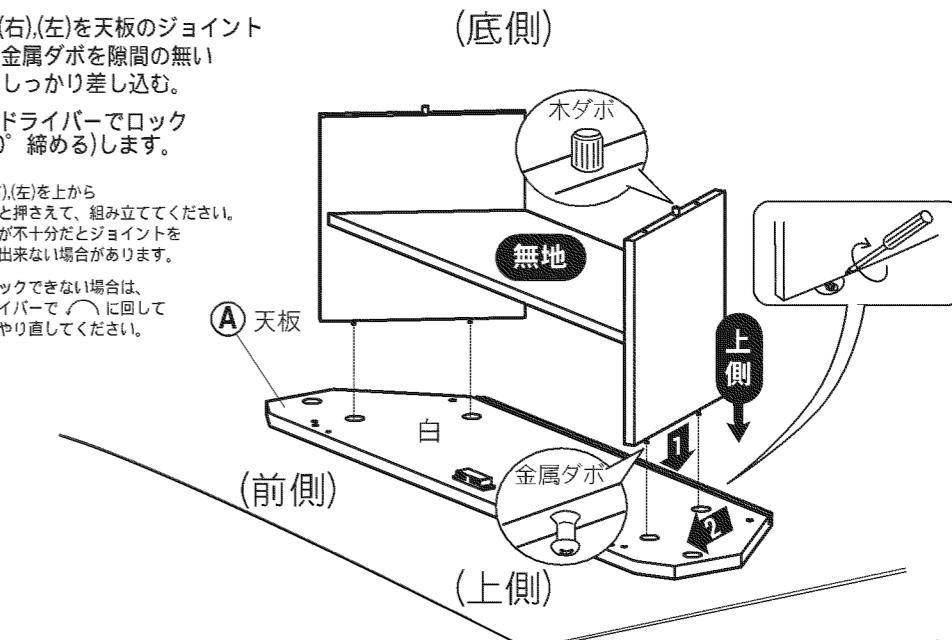
2 天板と仕切板の組み立て

上下向きに注意して組み立ててください。

手順

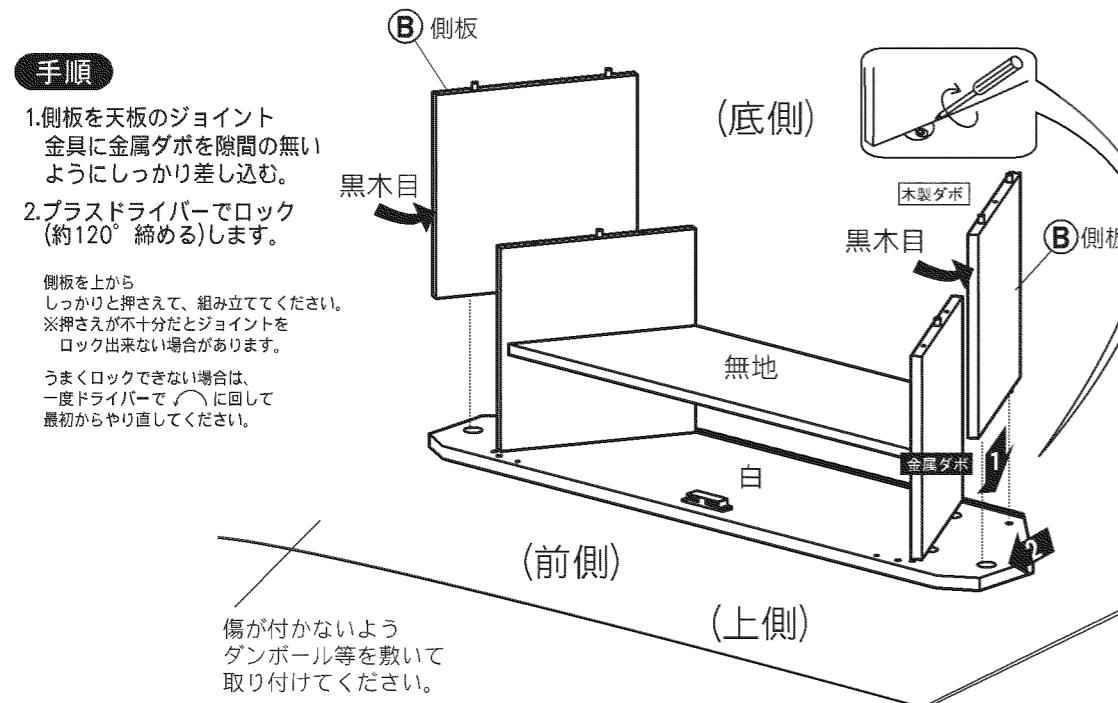
1. 仕切板(右),(左)を天板のジョイント
金具に金属ダボを隙間の無い
ようにしっかりと差し込む。
2. プラスドライバーでロック
(約120° 締める)します。

仕切板(右),(左)を上から
しっかりと押さえ、組み立ててください。
※押さえが不十分だとジョイントを
ロック出来ない場合があります。
うまくロックできない場合は、
一度ドライバーで回して
最初からやり直してください。

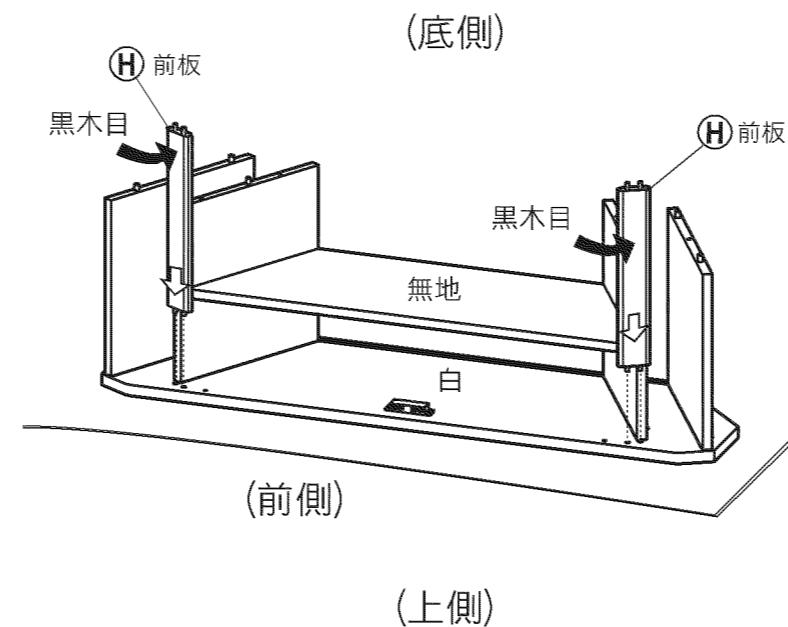




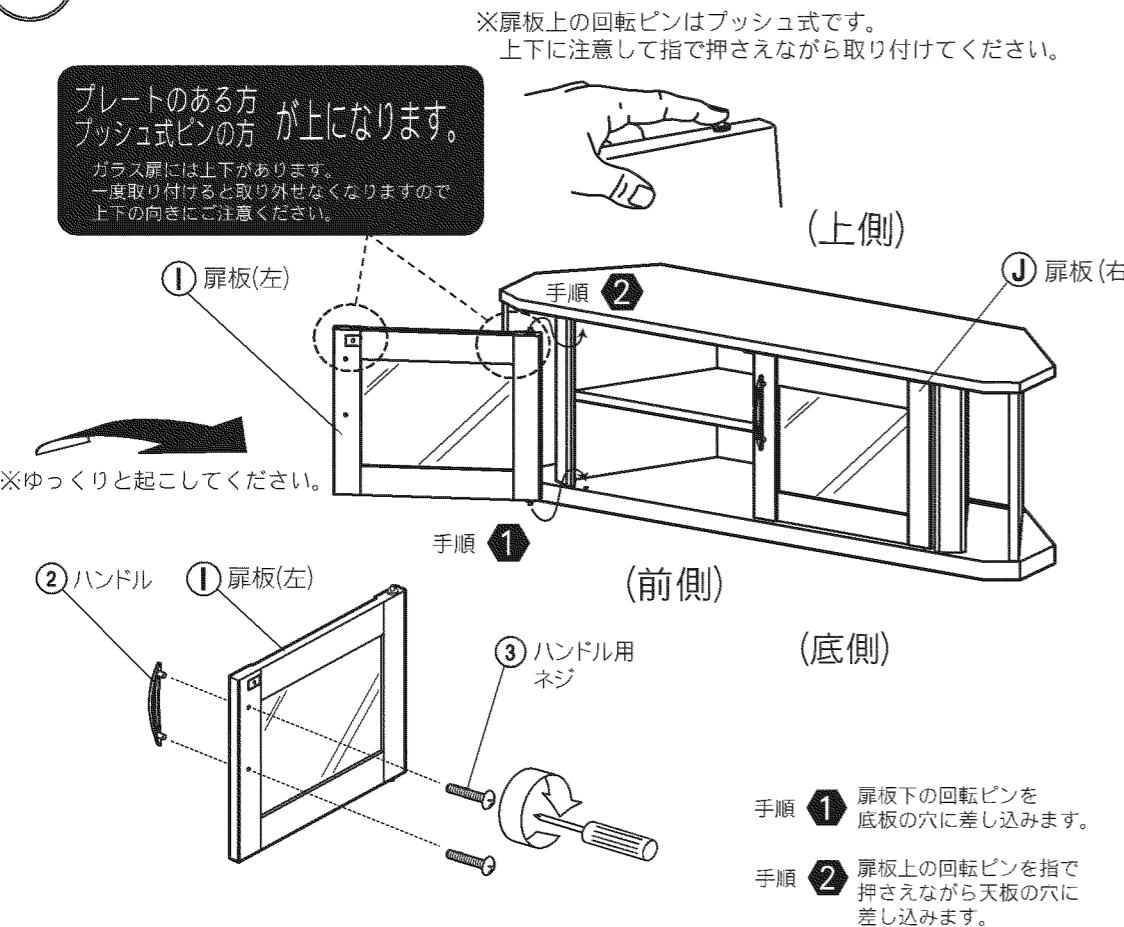
3 天板と側板の組み立て



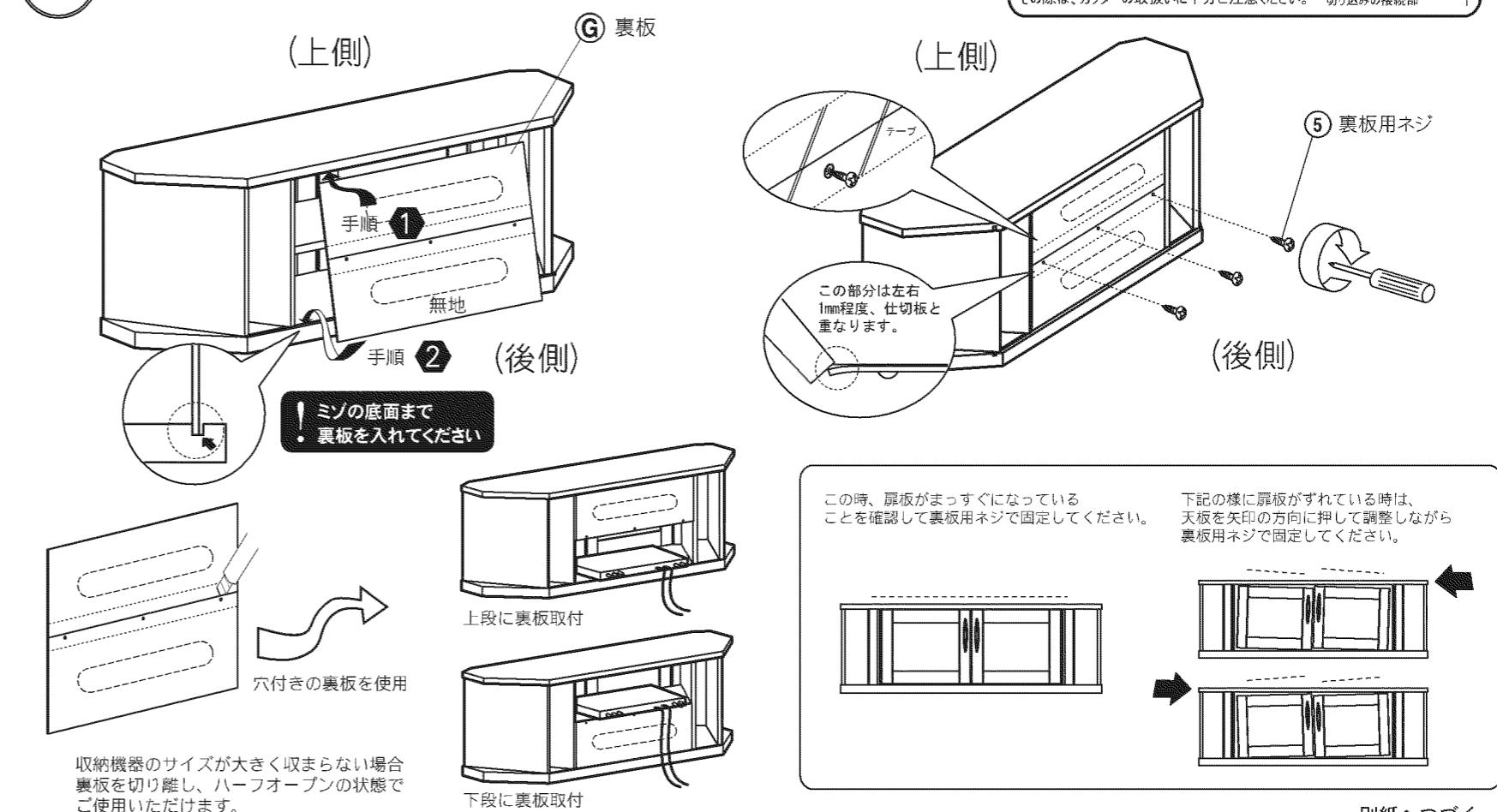
4 前板の組み立て



6 扉板の組み立て



7 裏板の組み立て





8 できあがり！

※移動の際は収納物を一度取り除いてから運んでください。
本体が破損しケガをする恐れがあります。



ありがとうございました。

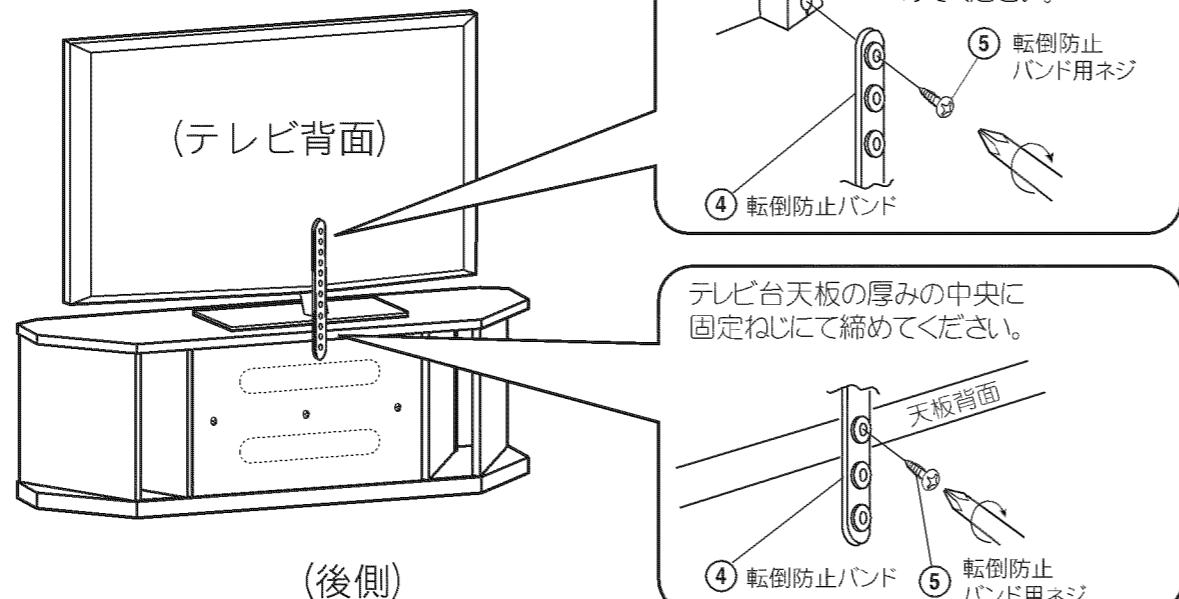
テレビ転倒防止(前面方向)についてお願ひ

テレビにお子様が登ったり、搖すったり、押したりされますとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

ご注意

※転倒防止バンドの取付方法はご使用のテレビの形状により異なります。テレビの説明書をご参考の上、適した方法でお取付けください。

テレビの形状によりお取付できないものもございます。
そのような場合はテレビ本体の取扱い説明書にもとづき、何かしらの転倒防止措置を行なうことをお薦めします。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかりと固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとかビヤダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れれるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

⑩家具を移動する時は、落したり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

ご使用にあたって

④引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっぱいに引出すと抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター（移動用小車）付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で人によってはアレルギー症状をおこすことがありますので、換気を充分にしで取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取り付けてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。



(社)日本家具耐震振興会

TL 03-3261-2805